

消費統計研究会（第9回） 議事概要

1 日 時 平成 31 年 3 月 28 日（木） 13:30～15:30

2 場 所 総務省統計局 6 階特別会議室

3 出 席 者

委 員：福井武弘座長（青山学院大学経営学部教授）
伊藤伸介委員（中央大学経済学部教授）
岩下真理委員（大和証券株式会社金融市場調査部チーフマーケットエコノミスト）
永濱利廣委員（株式会社第一生命経済研究所経済調査部 首席エコノミスト）
村上あかね委員（桃山学院大学社会学部准教授）
元山斉委員（青山学院大学経済学部教授）
川辺健一郎委員（東京都総務局統計部社会統計課長）
審議協力者：星野崇宏（慶應義塾大学産業研究所教授）
慶野有輝（慶應義塾大学経済学部）
川口大司（東京大学大学院経済学研究科教授）
鳥谷部貴大（東京大学大学院経済学研究科）
深井太洋（東京大学大学院経済学研究科）
オブザーバー：浦沢聡士（内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部国民支出課長）

総 務 省：阿向調査企画課長、中村物価統計室長、栗原消費統計課長、塚田消費指標調整官、久保課長補佐、嶋北課長補佐、落合統計専門職、柴田官、高井官

4 議 事

- (1) 全国家計構造調査「購入形態別結果」の集計について
- (2) 全国家計構造調査に用いる乗率について
- (3) 全国家計構造調査「年平均推定値」の推定方法について
- (4) その他

5 議事要旨

- 配布資料に基づき、議事(1)について事務局から、議事(2)について川口審議協力者から、議事(3)について星野審議協力者から説明を行い、その後、意見交換が行われた。委員等からの主な意見は以下のとおり。

- (1) 全国家計構造調査「購入形態別結果」の集計について
 - ・結果表案にある購入形態のカテゴリー区分などは、ある程度柔軟に考えても良いのではないか。
←基幹統計の結果表としてどこまで記載するか、どの時点で公表するかは引き続き検討して参りたい。
 - ・統計局で当初作成予定の表以外の結果表は、公募による追加集計とオーダーメイド・二次利用のどちらを優先的に対応するのか。
←検討中である。

(2) 全国家計構造調査に用いる乗率について

- ・都道府県別の推計はできるのか。
←都道府県別の人口分布を考慮したウエイトを用いることで、推計することは可能である。
- ・試算に用いている変数はどのように選定しているのか。
←表章を意識しながら、消費統計課と協議して変数を決めている。
- ・世帯属性によって過大もしくは過小に予測する傾向がある点について、従前の乗率に替えて本集計に実装する場合は、ここの精度を上げる必要があるのではないか。あえて平成26年調査と同じ方法で乗率を作成することも考えられるのではないか。
←・今回の予測は2005年と2010年の国勢調査結果を用いて行っている。就業状態のように適時反映させるのが適当なベンチマーク項目に労働力調査等を入れることは可能であり、レベルは維持してトレンドの精度を上げるような検討は出来ると思う。
・発表いただいたものは平成26年全国消費実態調査の抽出フレームを前提にしている。2019年全国家計構造調査では抽出フレームも大きく変わるので、実装段階で検討する必要がある。
- ・二人以上の世帯と単身世帯では標本設計が異なるので、ウエイト作成方法を分けるという考え方はあるか。
←提案している方法でも事実上ウエイト作成方法が分けられている。
- ・国勢調査と全国消費実態調査・全国家計構造調査では世帯主の定義が異なる。世帯主をキーに、全国消費実態調査の世帯分布を国勢調査の世帯分布に近づけることは適切か。
←全国消費実態調査の世帯主の定義に沿った悉皆調査がないので検証は難しいが、全国消費実態調査でも、実際は（家計を主に支える人ではなく）名目上の世帯主を書きがちということもある。

(3) 全国家計構造調査「年平均推定値」の推定方法について

- ・家計調査と全国消費実態調査の水準差について、家計調査で指摘されている過小記入バイアスや節約化・調査疲れといった影響の度合いは支出項目によって異なるのか。
←家計調査と全国消費実態調査の水準には違いがあり、過小記入バイアス等を指摘する研究結果もあるが、最も影響が大きいのは調査モードの違いであり、半分くらいはこれで説明できる。その他、ある種のセレクションバイアスの影響も考えられる。
- ・世帯構造を固定した上で、全国家計構造調査の結果を家計調査でのばすという推計も可能なのではないか。
←理論上は可能だが、精度確保など検討すべき課題が多い。
- ・全国消費実態調査の個票データにはゼロも多い。対数変換の際の扱いはどうしているか、また、正規分布にならないと思われる。
←精緻に推計すると手間がかかる。今後の課題として、多変量t分布での検討を考えている。